



はなさと だんざり

第232号
2025/3/1

節分豆まき祭り



二月十二日(水)、はなさとに鬼がやってきました。太鼓の音に誘われ金棒を持った鬼が登場すると「こらっ鬼!!」など気合の入った掛け声とともに豆(玉入れ用の紅白の玉)を投げ、落ちた豆を拾っては投げ・・・と大盛況でした。皆さんの意気込みに鬼は退散、逃げる際に「投げられた豆の威力が強く痛かった。そのパワーがあれば今年も大丈夫です。」と言葉を残しました。季節の行事を通して、皆さんに福が訪れますように。



雛飾り

ひな祭りに向けてはなさと玄関前にお雛様を飾りました。また受付のぬいぐるみも雛飾りに変身しています。飛騨のひな祭りと言えば飛騨一之宮の生きびな祭りが有名ですね。春のおとずれの遅い飛騨はひと月遅れのひなまつりを迎えます。生きびな祭りは、昭和二十七年、もともと蚕糸業が盛んだったこの地方で春秋の二回蚕糸業祭がおこなわれて蚕糸業農家の年中行事となっていた養蚕豊饒と地域農業の振興を祈念する春の養蚕業祭に、寒冷地のためにひと月遅れて行われるひな祭りを取り入れ、絹に象徴される女性の気品と幸福を祈念されるために始まったそうです。また、戦後の新憲法により、神社が国の管理下を離れ、宗教法人の1つとして自立した経営を迫られたことや神社信仰を盛り上げようとしたのがきっかけともいわれ、いわば神社の振興と蚕糸業の振興のために始まったとも言われています。近年では蚕糸業が廃れてしまったため、祭を主催していた『蚕糸業奉賛会』も『蚕糸業奉賛会』と名前を変え、農業協同組合が後押しする農業全般の豊饒と女性の幸せを祈願する華やかなお祭りとして毎年多くの人々を魅了しています。



はなさと玄関前



受付



ハートちゃん・ROKENくんも
着飾っています！
とても可愛いのでぜひご覧下さい！